資料提供

［本件に関するお問合せ先］
内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付　参事官（国際担当）付
電話：０３－６２５７－１３２８（直通）　真子（まなご）、須田
０３－５２５３－２１１１（内線 36141、36142）
FAX　：０３－３５８１－８６５３

G7 茨城・つくば科学技術大臣会合のアジェンダについて

2016 年 2 月 19 日
政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付

このたび、本年、5 月 15 日（日）～17 日（火）に茨城県つくば市で開催する「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合」のアジェンダが決定したのでお知らせする。

【アジェンダの設定の考え方】

アジェンダの設定は、昨日から本日にかけて開催されている G サイエンス学術会議会合や科学技術イノベーション（STI）に関する国際会議等における議論の動向等を踏まえ、SDGs（国連持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）や COP 21（国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議）をフレームワークとする地球規模課題の解決に向けた国際連携・協調、さらには伊勢志摩サミットに繋がるよう各国、関係者と調整を進めてきたところである。

このたびのアジェンダの決定を踏まえ、引き続き、各国と課題毎に国際協力の枠組みや政策的な合意内容等について、調整等を行っていくこととしている。

【アジェンダについて】

① **Global Health**
保健医療と科学技術～最新医療技術開発の促進と地球規模課題の解決を目指して～

② **Gender and Human Resource Development for STI**
次代を担う科学技術イノベーション人材の育成
～人材の多様性、流動性の確保と女性活躍の拡大に向けて～

③ **Future of the Seas and Oceans**
海洋の未来：科学的知見に基づく海洋のガバナンスの確立に向けて

④ **Clean Energy**
革新的エネルギー技術開発：2050 年を見据えた革新的技術の開発、導入に向けた取組促進

⑤ **Inclusive Innovation**
持続可能な経済成長モデルの構築～格差のない社会を目指して～

⑥ **Open Science**
サイエンスの新たな時代の幕開け～社会全体のイノベーションシステムの強化を目指して～

上記のうち、③及び④については、昨年ドイツベルリンで開催された G7 科学大臣会合のフォローアップも兼ねて議論を行う。

会合に先立ち、4 月に SOM（高級実務者会合）を開催し、本会合における議論・共同声明を実務的に準備すべく、議題毎に特筆すべき研究開発課題や国際協力の枠組等について議論する。

（参考）G サイエンス学術会議会合（2 月 18 日、19 日）(注) におけるアジェンダについて

① 脳と心：脳に関する全世界的な理解・保護・活用

※大臣会合では Global Health において、関連した議論を行う。

② 防災：持続的な開発に向けた災害に対するしなやかさの強化

※大臣会合では Inclusive Innovation において、防災関連について議論を行う。

③ 科学者育成：将来に向けた優れた科学者の育成

※大臣会合では Gender and Human Resource Development for STI において、関連した議論を行う。

（注）G サイエンス学術会議

Gサイエンス学術会議は参加各国の学術会議（アカデミー）がサミット参加各国の指導者に向けて政策提言を行うことを目的として開催される科学アカデミー会合。2005 年に発足。今回で 11 回目の開催となる。

政策提言は、会議後に各国との調整を経て世界同日付で共同声明として各国指導者に提出される。日本でも、これまで日本学術会議会長から総理大臣に手交。

【共同声明について】

G7 茨城・つくば科学技術大臣会合で議論した内容については、共同声明として取りまとめ世界に発信する。

【議長国として】

我が国においては、本年 1 月 22 日に第 5 期科学技術基本計画を閣議決定した。

「科学技術イノベーションは、国内外の持続的かつ包摂的な発展に貢献できるのか。」第 5 期科学技術基本計画は、その問いかけに応え、日本国民、ひいては世界の人々を、より豊かな未来へと導く羅針盤となることが求められていることを認識し、ものづくり等の産業分野のみならず、ICT を最大限に活用することにより、社会の様々な分野に広げ、社会変革につなげていく取組「Society 5.0」を打ち出した。

さらに課題先進国として、世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成、人材の多様性確保と流動性の促進（女性の活躍促進）、国際的研究ネットワーク構築の強化、インクルーシブ・イノベーションの推進、オープンサイエンスの推進等を打ち出し、世界規模での協力関係の構築により科学技術イノベーションの国際活動と科学技術外交を戦略的に推進することとしている。

我が国は、議長国として、「Society 5.0」の推進を提唱するとともに、G7 国間の連帯に基づく国際連携・協調、協力体制の枠組を形成し、地球規模課題の解決、世界平和への貢献を果たすことを目指す。